

清田研究室

地圏災害予測・軽減への挑戦



基礎系部門

地圏災害軽減工学

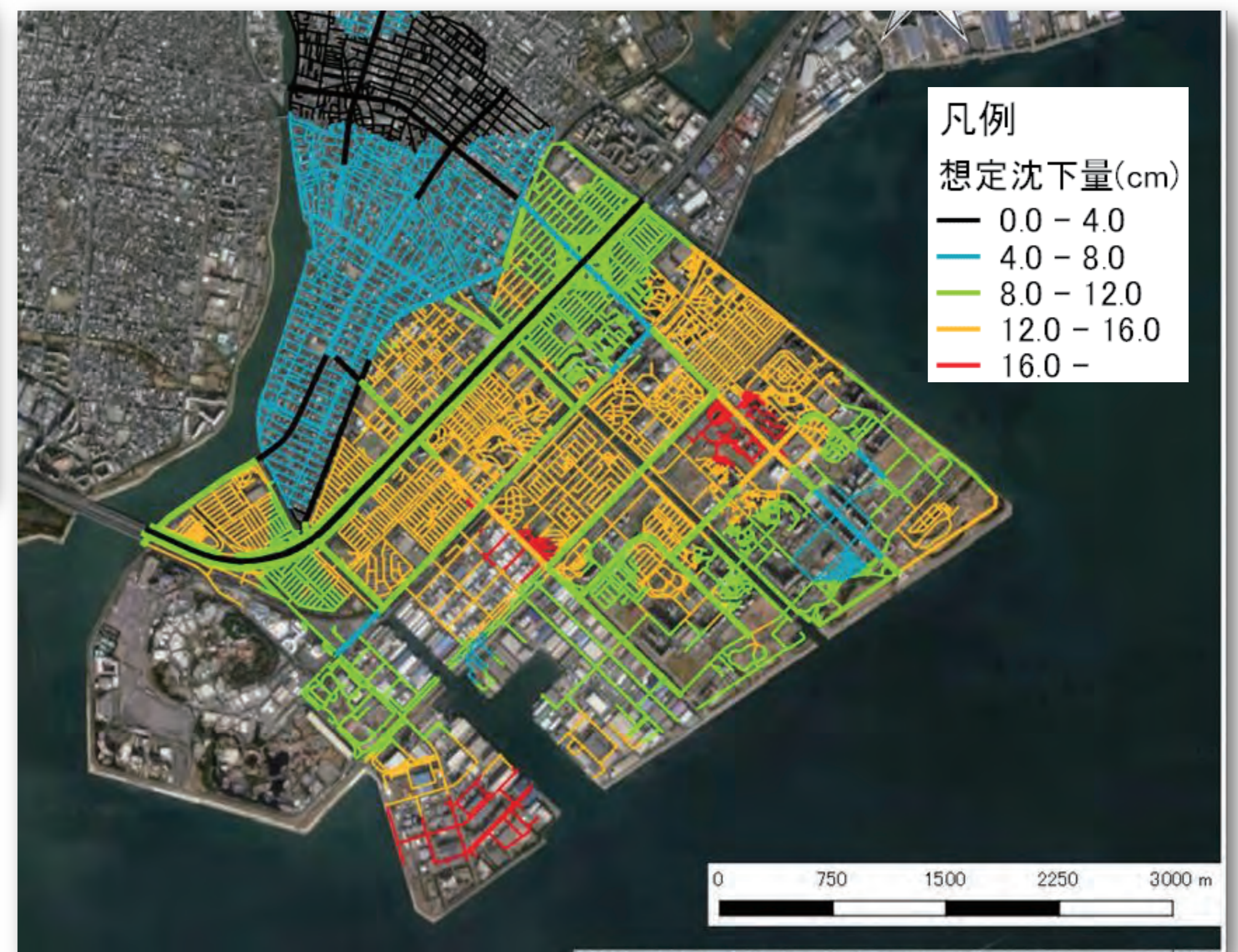
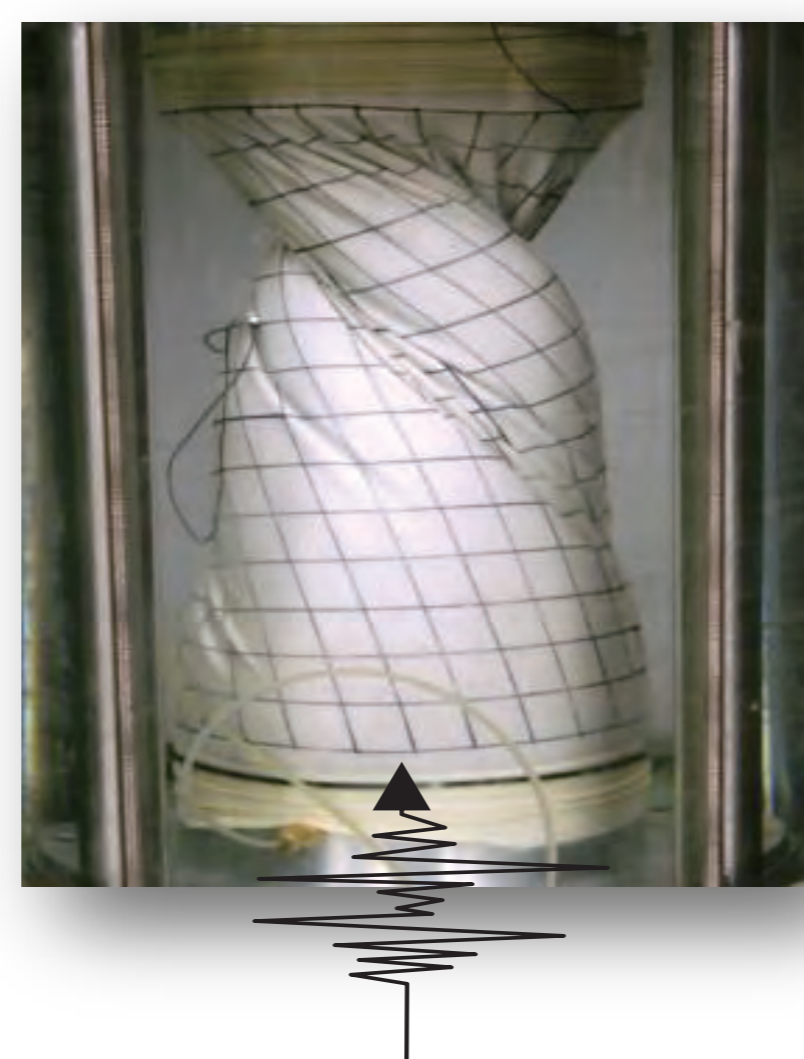
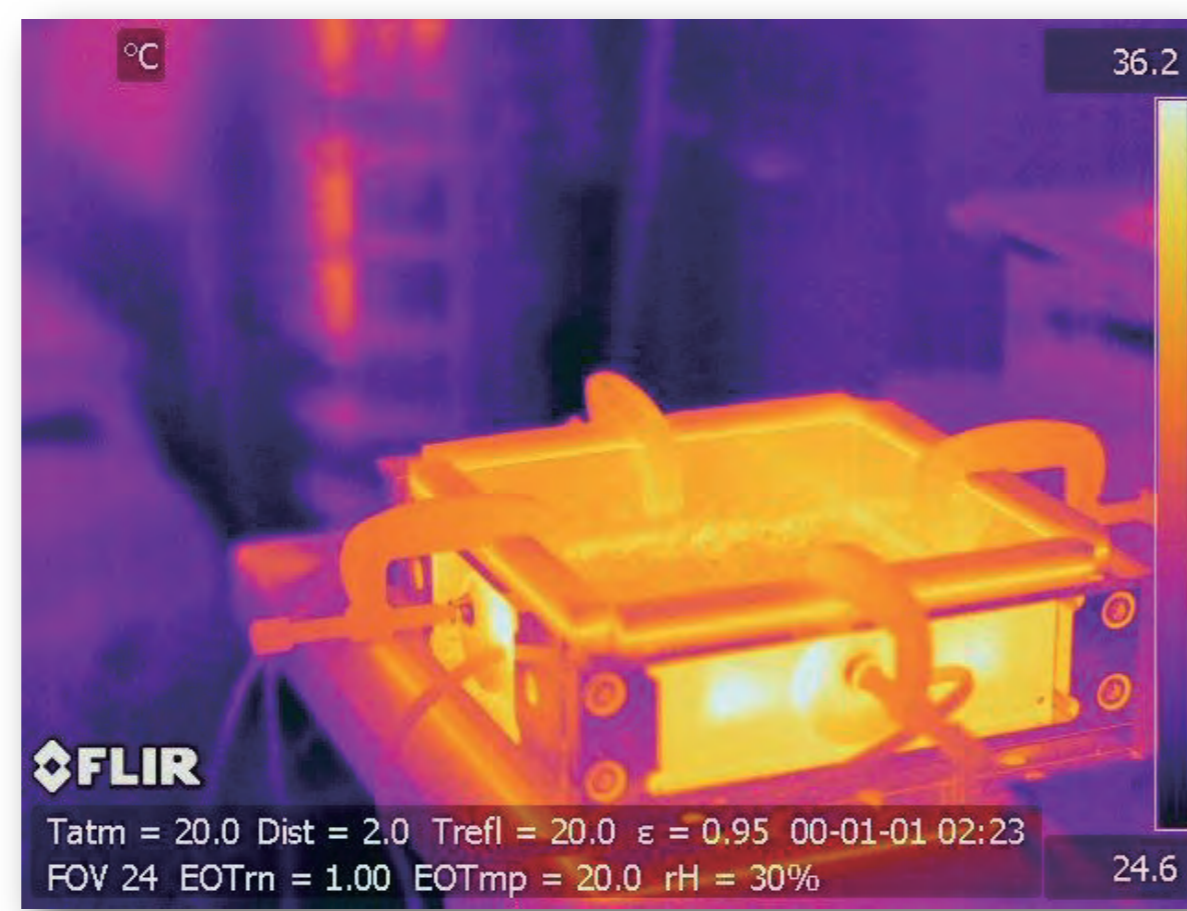
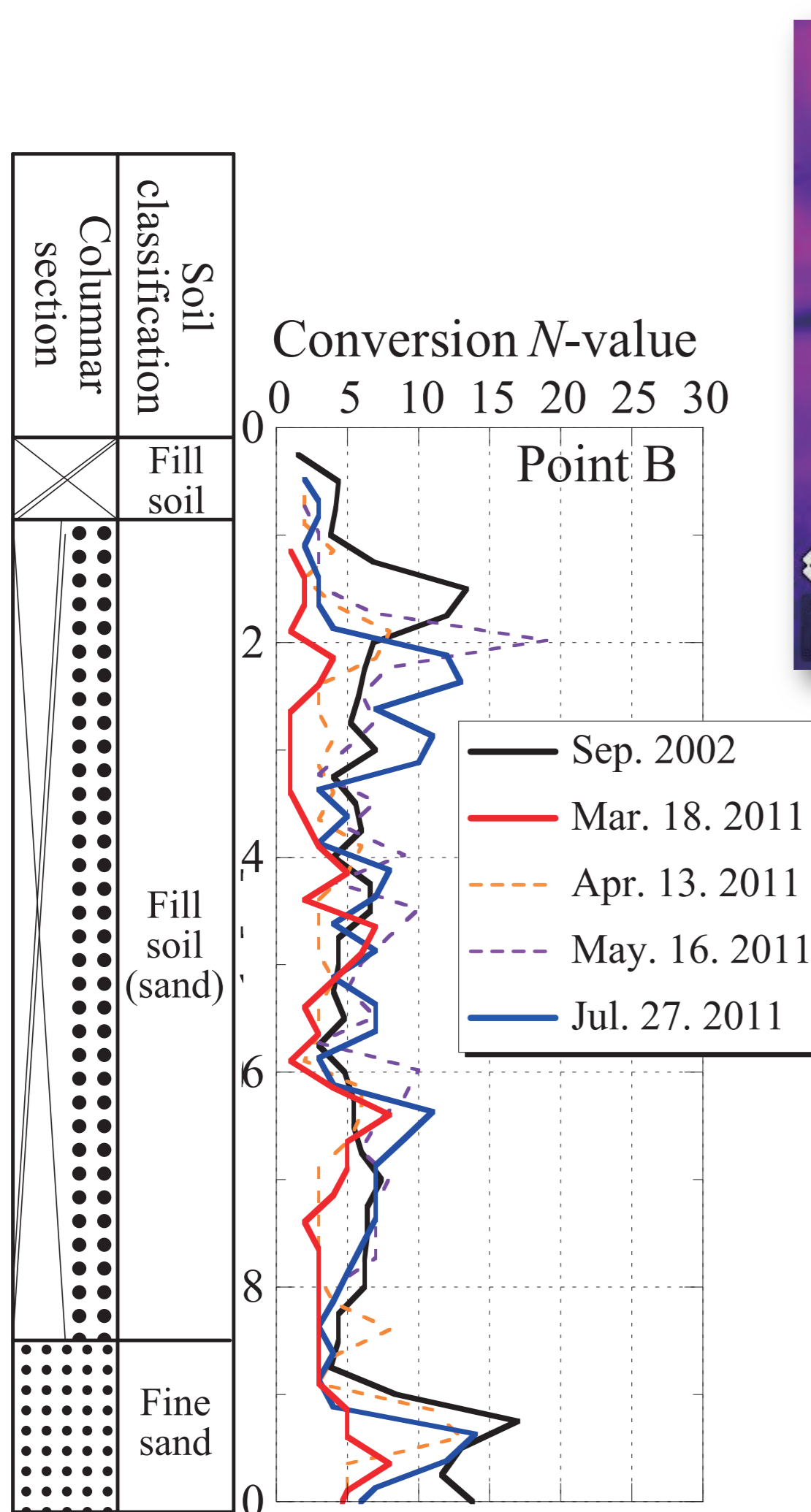
工学系研究科 社会基盤学専攻

<http://www.gdm.iis.u-tokyo.ac.jp/>

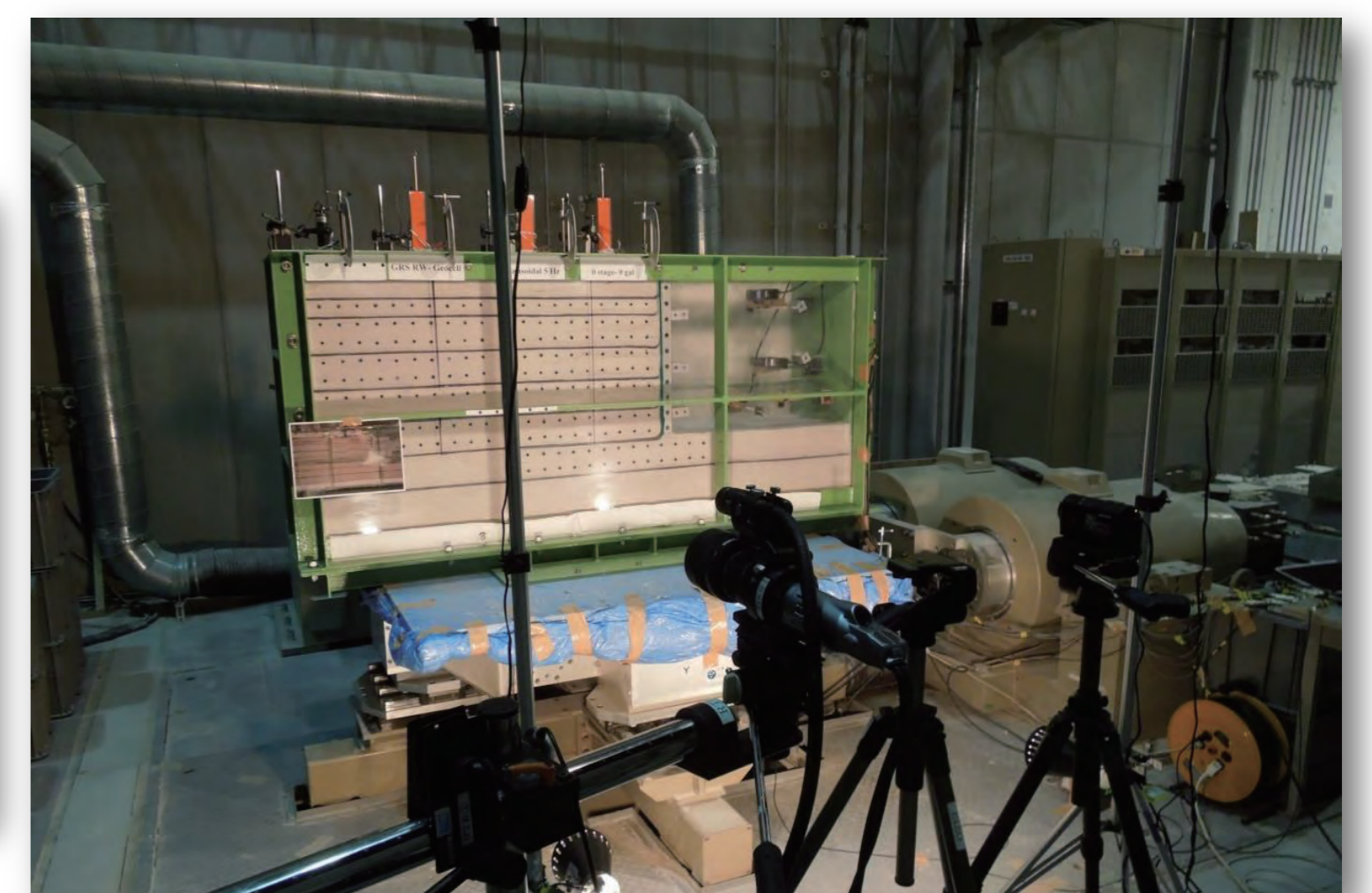
地盤災害軽減に向けて

Challenge of Geo-disaster Mitigation

地震や豪雨などの自然現象による災害の多くは、地盤の挙動と密接に関わっています。2024年に発生した能登半島地震では低平地で顕著な液状化と斜面流動が同時に生じ、港湾や道路が広範囲に損傷しました。2023年トルコ・シリア地震でも表層破断や液状化、斜面崩壊といった地盤被害が建物基礎を破壊するなど甚大な被害をもたらしています。私たちは、こうした生活を直撃する地盤災害に対し、事例調査と多様な実験によって被災メカニズムを解明し、将来の地盤防災戦略に貢献します。



液状化発生前後の地盤強度の変化と中空供試体による液状化実験



新素材を用いた補強土擁壁の耐震性に関する研究
補強効果を引抜き試験と振動台模型実験で検討

